



# 目次

まえがき……………1

## 第一部 祖国喪失……………7

I まぼろしの祖国……………9

1 本国のない領事館……………10

3 魂の中の国籍……………18

2 星条旗への忠誠……………15

4 片道切符のパスポート……………24

II 難民の世紀・ドイツの軌跡…………… 33

1 — ふたつのキー・ワード 34 2 — 「民族一国家」 36

3 — 茨の十字架 42 4 — 死の帰還 46 5 — ベルリンの墓標 51

III 民族自決主義の破綻…………… 57

1 — イリーガルズ、不法入国者たち 58 2 — アレンビー橋の悲劇 64

3 — 忘れられた墓地 72

IV 難民回廊ウイーン…………… 75

V 現代の流浪の民、アルメニア人…………… 87

1 — 虐殺の記憶 88 2 — ザベン老人 95 3 — アララト山 100

4 — 民族の絆 109 5 — 祖国喪失の時代 113

終章 遺書のなかの国家と個人…………… 115

## 第二部 国家が「破産」するとき……………127

### I 「21世紀の国」ブラジルの挫折……………129

1 「世界一」の水力発電所 130 2 アメリカ最大の製鉄所の誕生 133

3 最大の債務国の危機 135 4 世界一の借金男 137

5 もめにもめた「貸上げ抑制法」 141 6 荒れた一九八三年 143

7 失業者たち 145 8 「三〇円の負担も惜しい！」 149

9 ダイスの雨 150 10 山に登るファベラ 153

### II 破局への恐怖……………157

1 累積債務「八一〇〇億ドル」 158 2 —とめない追加融資 160

3 破局へのシナリオ 162 4 「駆けこみ寺」IMF 167

5 アルゼンチンの反乱 169 6 揺れる大手米銀 171

### III 世界戦略の陰で……………175

1 ― “大産油国”のつまずき 176  
2 ― メキシコ救済＝真夏の経済スリラー 178

3 ― 落下傘部隊 184  
4 ― “何でも屋さん” 187

5 ― ソカロの一日 189  
6 ― 国営質屋 191

7 ― 対立した西独とアメリカ 195  
8 ― 配給 198

9 ― アルバイト 201  
10 ― ドル・クーポンとドル・シヨップ 205

#### IV 21世紀を模索する国々……………209

1 ― 黄金の大地ベンガル バングラデシュ 210  
2 ― 増え続ける人口 213

3 ― マンパワー・エクスポート 218  
4 ― 援助合戦 221

5 ― オイル・リッチ ブルネイ 224  
6 ― 豊かさのつけ 227

7 ― 石油からの脱出 230  
8 ― 金もつけこそ生きがい 香港 232

9 ― 香港式蓄財法 236  
10 ― 国籍売ります 238

終章 “二世”を生きる国 日本の得たもの・失ったもの……………243

